

PENTAX®

Z-1 QUARTZ
DATE

使用説明書



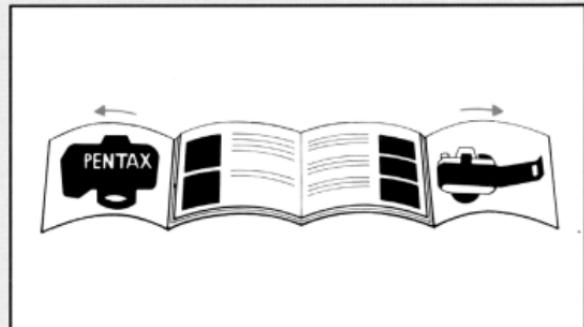
このたびはペンタックスカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。Z-1は、18種類のペンタックスファンクションやパワーズーム、プログラム自動露出からのワンタッチでのシャッター優先、絞り優先への切り替えとプログラムへの復帰など自由に撮影者の意図を割り込ませることができます。また、パワーズームレンズとの組み合わせによるオート露光間ズームや撮影倍率の指定、焦点距離の設定など高精度なインテリジェントパワーズームを備えたオートフォーカス一眼レフカメラです。

その他、以下のような特徴を備えています。

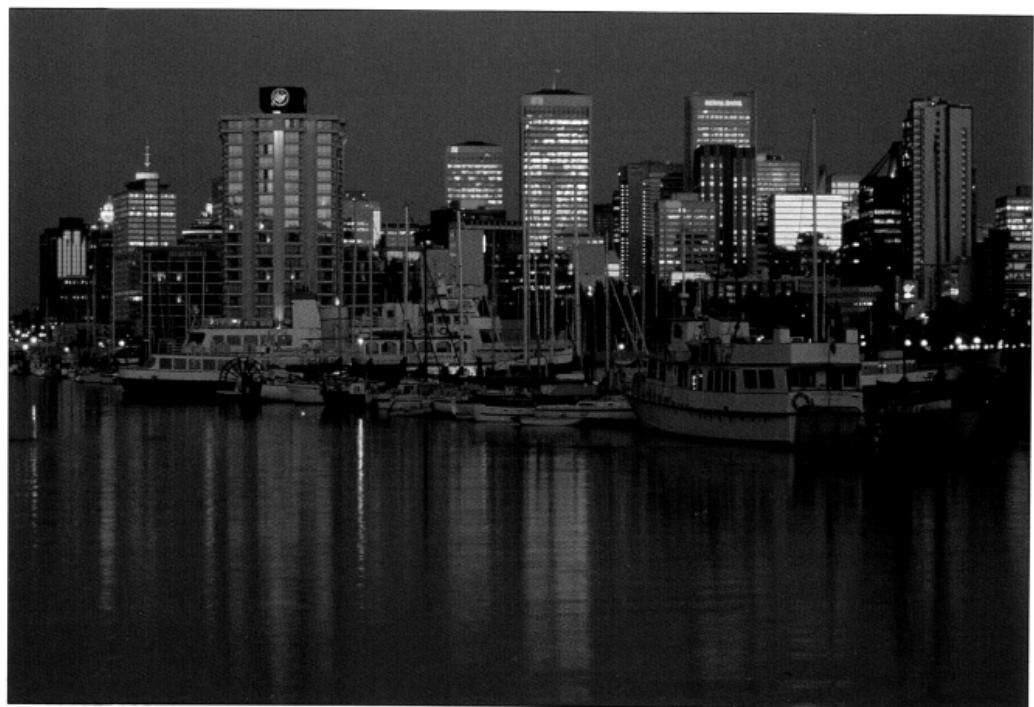
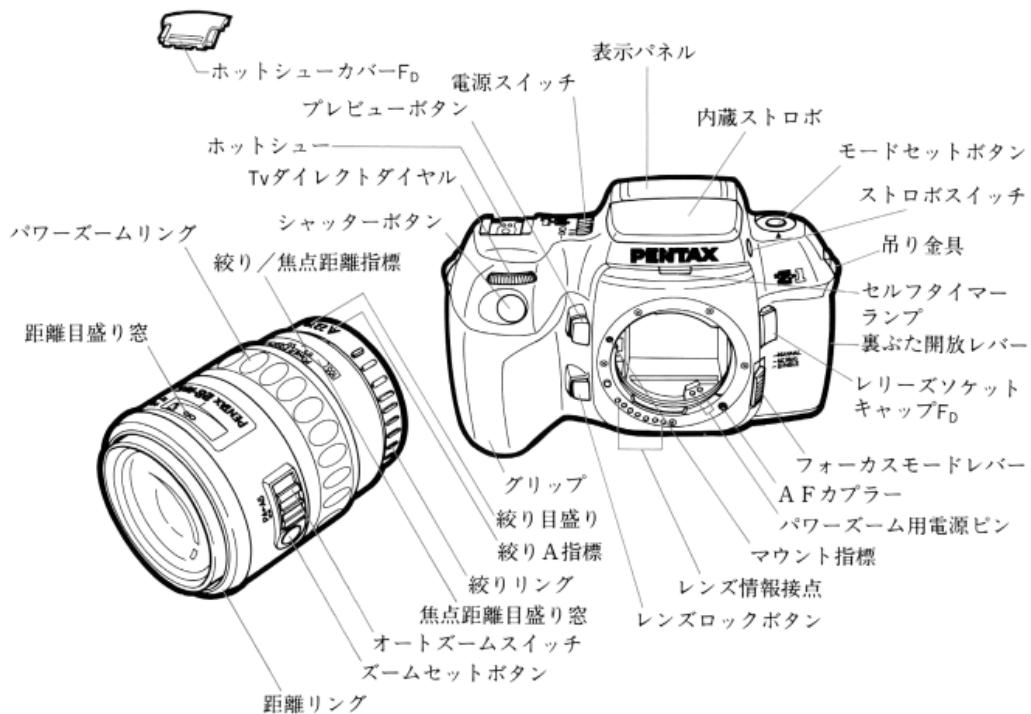
- ・動体予測
- ・8分割測光
- ・インターバル撮影
- ・9回までの多重露出
- ・スポット測光への切り替え可能

ご使用前に使用説明書の関係部分をよくお読みのうえ正しくお使いください。

各部の名称は表紙と裏表紙の内側にありますので、開いて各ページを読みながらご覧いただくこともできます。



各部の名称①

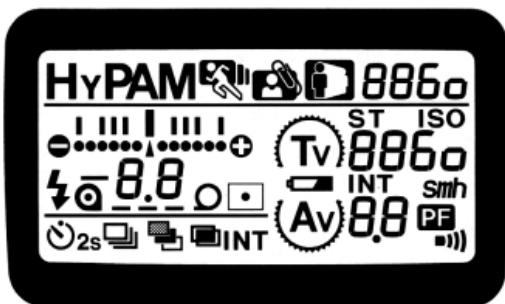


目次

表示パネルの表示ガイド	2
ファインダー内の表示ガイド	3
使い方は簡単です	4
マウントについて	6
Z-1と各種レンズを組み合わせたときの機能	7
説明書の構成について	8
カメラの準備と基本操作	9～21
ストラップを取り付けます	9
電池を入れます	10
レンズを取り付けます	12
ファインダーの視度を調節します	14
シャッターボタンの操作	15
電源スイッチの操作	15
データバックを使います	16
フィルムを入れます	17
フィルムの巻き戻しについて	20
基本的な使い方（撮影）	22～36
最も簡単な露出モードを使います	22
基本的なドライブモードについて	24
ズームレンズの使い方	26
カメラの構え方	29
オートフォーカスで使います	30
オートフォーカスでピントを合わせます	30
・フォーカスロック撮影について	32
撮影します	34
内蔵ストロボの基本的な使い方	34
・赤目現象について	36
応用的な使い方	37～103
手動によるピント合わせ	37
オートフォーカスの苦手な被写体	40
測光方式の切り替えについて	41
・メモリーロックについて	41
各露出モードを選びます	42
・ハイバープログラム自動露出の使い方	44
・プログラム自動露出の使い方	46
・シャッター優先自動露出の使い方	48
・絞り優先自動露出の使い方	50
・ハイバーマニュアル露出の使い方	53
・マニュアル露出（ブルブ）の使い方	56
露出補正について	58
ドライブモードを選びます	59
・オートフラッシュティング撮影の使い方	62
多重露出撮影の使い方	64
・インターバル撮影の使い方	65
セルフタイマー撮影の使い方	68
・2秒セルフタイマー撮影の使い方	69
・トリプルセルフタイマー撮影の使い方	70
パワーズームの拡張機能	71
・ズームクリップモードの使い方	72
・イメージサイズ指定モードの使い方	74
・露光間ズームモードの使い方	77
内蔵ストロボを使います	80
PF ベンタックスファンクション	84
フィルム感度（ISO）のマニュアル設定	94
電子音を消すには	95
外付けストロボの使い方	96
・光量比制御シンクロ撮影	99
アクセサリーについて	100
・専用アクセサリー	100
・ソフトケース	101
・クォーツデータのデータ修正	102
写真の豆知識	104～107
・絞りとシャッター速度の効果	104
・被写界深度	106
・赤外線指標について	107
その他について	108～121
電池について	109
取り扱い上の注意	110
こんなときは？	112
主な仕様	114
お問い合わせは次の各サービス窓口へ	118
アフターサービスについて	121

(1)

表示パネルの表示ガイド

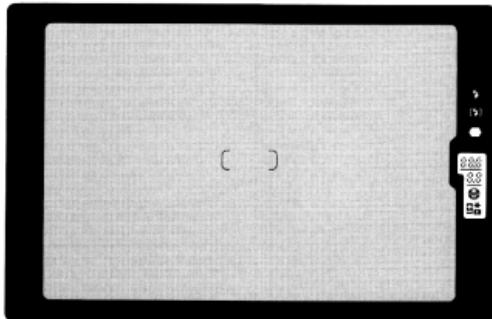


- HyP——ハイバープログラム自動露出表示
- P——プログラム自動露出表示
- A()——絞り優先自動露出表示
- A()——シャッター速度優先自動露出表示
- H·M——ハイバーマニュアル露出表示
- イメージサイズ指定モード表示
- ズームクリップモード表示
- 露光間ズームモード表示
- 8000——シャッター速度表示
- 32——絞り表示
- 測光モード表示

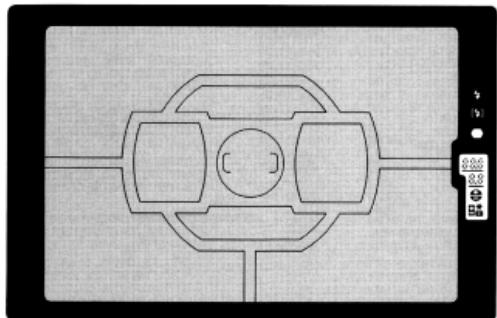
- セルフタイマー表示
- 2s——2秒セルフタイマー表示
- トリプルセルフタイマー表示
- INT——インターバル撮影表示
- 露出補正表示
- ISO——フィルム感度表示（ISO）
- Tv——Tvダイレクトダイヤル表示
- Av——Avダイレクトダイヤル表示
- PF——ベンタックスファンクション表示
- 電子音有効表示
- 電池消耗表示
- ストロボ情報表示
- 24——フィルム枚数表示
- フィルム状態表示
- 1コマ撮影表示
- 連続撮影表示
- オートフラッシュティング表示
- 多重露出表示

*露出補正ボタン [] と測光モード切り替えボタン [] を同時に押すと、表示パネルを約5秒間照明することができます。

ファインダー内の表示ガイド



- () オートフォーカスフレーム(AFフレーム)
- 外付けストロボ情報表示
- [] 内蔵ストロボ情報表示
- 合焦表示(ピント情報)
- 8000 Tv表示(シャッター速度情報)
- 32 Av表示(絞り情報)
- 露出オーバー表示
- 露出アンダー表示
- 露出補正表示
- 測光モード表示
- * メモリーロック表示



8分割測光について

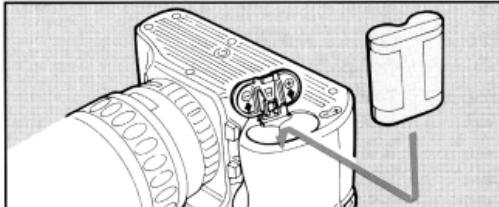
Z-1は、高精度のTTL 8分割測光方式が採用されています。図のように画面の中を分割して測光を行ない、様々な光の条件下で最適な露出を得ることができます。

例えば、従来の平均測光方式では逆光の人物撮影のときなどに、背景の明るい部分が全体の露出に影響を与えるため、写したい人物がどうしても暗くなってしまいます。これに対して分割測光では、画面のどの部分にどんな明るさのものがあるのかカメラが判断し、そのまま撮影しても人物が暗くならないように露出を決定します。その他、逆光以外の明暗差がある条件下でも画面を分割して露出値を計算し、自動的に露出補正をしますから、初心者の方でも安心して撮影を楽しんでいただけます。

③

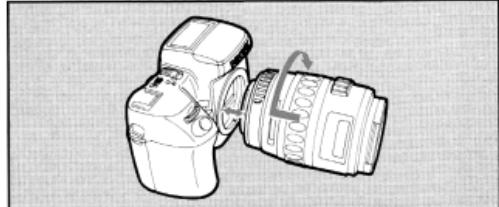
使い方は簡単です！(とにかく撮影してみたい人のために)

1)電池を入れてください



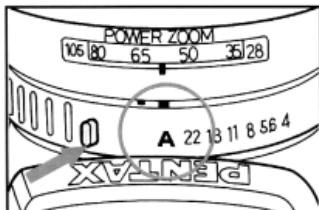
電池ぶたを開いて、リチウム電池 2CR5 1本をカメラの表示に合わせて入れます。(10ページ)

2)レンズを取り付けてください



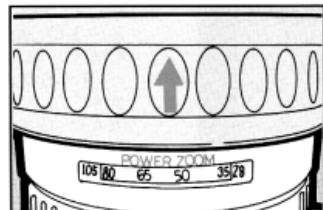
レンズとカメラのマウント指標を合わせてハメ込み、右に止まるまで回してロックします。(12ページ)

3)絞りをA位置にしてください



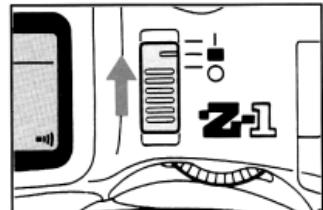
レンズの絞りオートロックボタンを押しながらリングを回し、絞りをA位置に合わせます。(23ページ)

4)パワーズームにしてください



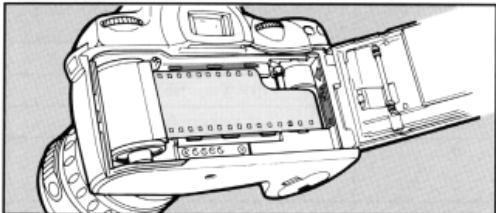
レンズのズームリングを前側に押し出しでPOWER ZOOMが見える状態にし、オートズームスイッチを[P]にします。(27ページ)

5)グリーンポジションにします



電源スイッチを [■] (グリーンポジション)に合わせます。(15ページ)

6) フィルムを入れてください



カメラの裏ぶたを開けてフィルムを入れ、先端マークを合わせて裏ぶたを閉めます。自動的に1コマ目まで巻き上がります。(17ページ)

8) パワーズームで構図を決めてください



ファインダーを覗きながらズームリングを回して、写したいものを好みの大きさにしてください。(26ページ)

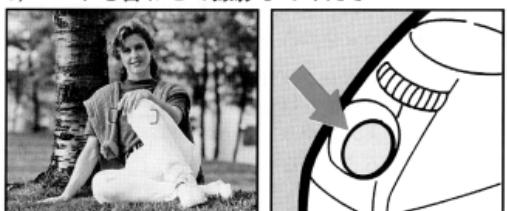
* モードダイヤルが **PF_{on}** の位置ではシャッターが切れません。撮影時は、必ず他の位置に合わせてください。

7) オートフォーカスにしてください



フォーカスモードレバーを **SINGLE** に合わせます。(30ページ)

9) ピントを合わせて撮影してください



写したいもの(被写体)を A F フレーム () に合わせて、シャッターボタンを静かに押して撮影します。(34ページ)

(5)

マウントについて

カメラ・レンズのマウントについて

マウントの分類名称	レンズ分類名称	カメラ代表機種名
①K _{AF2} マウント	ペンタックスFAレンズ	Z-1、Z-10
②K _{AF} マウント	ペンタックスFレンズ	SFX _N 、SF7
③K _A マウント	ペンタックスAレンズ	スーパーA、P30 _T
④Kマウント	ペンタックスMレンズ およびペンタックスレンズ	LX、K1000
⑤スクリューマウント	SMCタクマーレンズなど	ESII、SP

①～④のレンズはKマウント(バヨネット式)です。

①～②はオートフォーカス対応レンズです。

③～⑤はマニュアルフォーカスレンズです。

⑤は旧タイプのねじ込み式レンズですから、マウントアダプターKを使って取り付けます。

①～③は絞りリングにA(オート)位置が付いています。

ペンタックスFAレンズはKマウントに以下の機能が追加されたもので、従来のKマウントカメラにも使えるようになっています。

- ・パワーズーム用電源ピン
- ・AFカプラー
- ・レンズ情報接点

Kマウント互換イメージ図

K _{AF2} マウントレンズ	K _{AF} マウントレンズ	K _A マウントレンズ	Kマウントレンズ
<ul style="list-style-type: none"> ●パワーズーム用電源ピン ●AFカプラー ●レンズ情報接点 	<ul style="list-style-type: none"> ●AFカプラー ●レンズ情報接点 	<ul style="list-style-type: none"> ●レンズ情報接点 	

Z-1と各種レンズを組み合わせたときの機能

機能	レンズ 〔マウント名〕	FAレンズ 〔K _{AF2} 〕	Fレンズ 〔K _{AF} 〕	Aレンズ 〔K _A 〕	Mレンズ 〔K〕	Sレンズ 〔P〕
オートフォーカス（レンズ単体使用） (AFアダプター1.7×使用)	○	○	×	×	×	×
マニュアルフォーカス(FI表示の利用) ^{注2} (マット面の利用)	○ ^{注3}	○ ^{注3}	○ ^{注3}	○ ^{注3}	○ ^{注3}	○
パワーズーム	○ ^{注4}	×	×	×	×	×
ズームクリップ	○ ^{注4}	×	×	×	×	×
イメージサイズ指定	○ ^{注4}	×	×	×	×	×
露光間ズーム	○ ^{注4}	×	×	×	×	×
ハイパープログラム自動露出	○	○	○	×	×	×
プログラム自動露出	○	○	○	×	×	×
絞り優先自動露出	○	○	○	○	○ ^{注5}	○ ^{注5}
シャッター優先自動露出	○	○	○	○	×	×
ハイパーマニュアル露出	○	○	○	○	○ ^{注5}	○ ^{注5}
プログラムTTLオートストロボ撮影	○	○	○	○	×	×
TTLオートストロボ撮影	○	○	○	○	○	○

注1：レンズの開放F値がF2.8より明るいレンズのみ。(AFアダプターの説明書をご覧ください。)

注2：ファインダー内の合焦表示[○]に従って行なう手動のピント合わせ。(FI=フォーカスインジケーター。)

注3：レンズの開放F値がF5.6より明るいレンズのみ。

注4：FAズームレンズのみ。

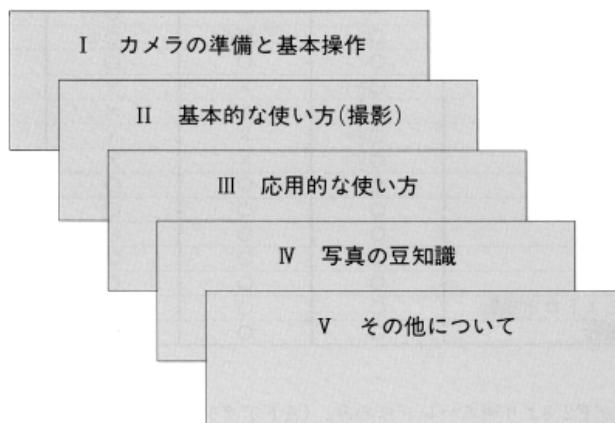
注5：絞りA位置によるAvダイレクトダイヤルでの絞りセットでは使用できません。

*Mレンズ以前(レンズ情報接点のないレンズ)は、8分割測光にならず、中央重点測光になります。(なお、スポット測光は、そのまま働きます。)

(7)

説明書の構成について

説明書を効果的にご利用いただくために、
この説明書は次のように分けられています。



- とにかくZ-1で撮影してみたい方は、「カメラの準備と基本操作」と「基本的な使い方(撮影)」をお読みください。最小限の操作を知っていただけで簡単な撮影がお楽しみいただけます。
- 「電池について」(109ページ)「カメラの取り扱い上の注意について」(110ページ)「アフターサービスについて」(121ページ)は必ずお読みください。